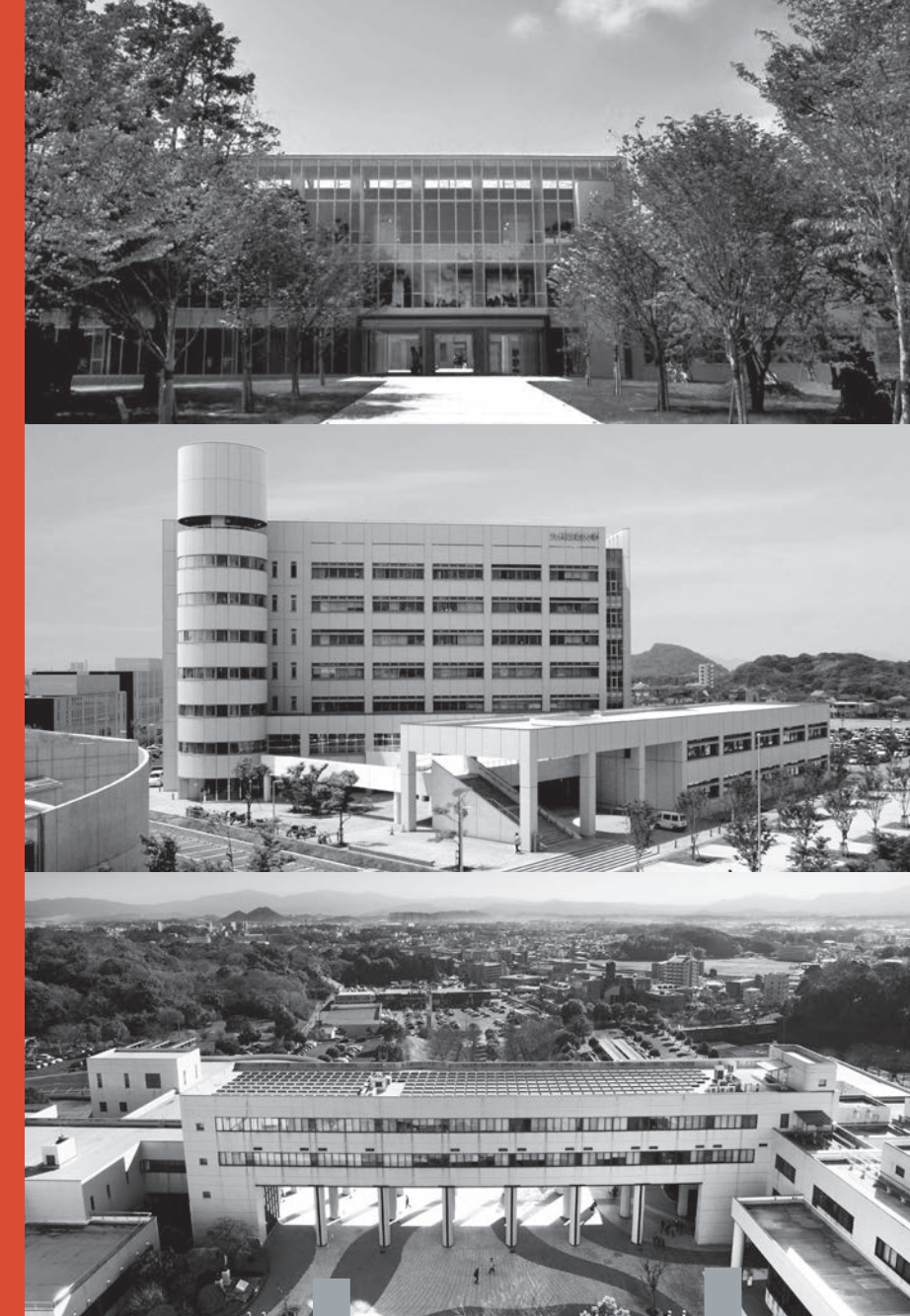




未来を思考する「モノづくり」と「ひとづくり」

<https://www.ccr.kyutech.ac.jp/>



国立大学法人

九州工業大学

イノベーション本部 産学イノベーションセンター
社会実装本部 未来思考実証センター

〒804-8550 福岡県北九州市戸畑区仙水町1番1号 コラボ教育支援棟2階

TEL 093-884-3485

E-MAIL office@ccr.kyutech.ac.jp



Kyutech
Kyushu Institute of Technology

国立大学法人九州工業大学
産学イノベーションセンター
未来思考実証センター

2024年7月発行

Kyutech Innovation NEWS 2024

ご挨拶



国立大学法人九州工業大学
副学長・理事
(研究、産学連携、経営戦略担当)・教授
社会実装本部長

中藤 良久
Nakatoh Yoshihisa

九州工業大学は2024年4月に組織を改編し、研究系としてイノベーション本部、社会実装本部、研究本部の3本部を設置しました。研究の企画立案から、知財管理支援、技術移転、産学官連携、スタートアップ創出までシームレスに支援することで、本学の研究力を高めるとともに、研究成果の社会実装による社会貢献へと繋げてまいります。

また、新設の社会実装本部には、地球規模課題を解決しうる学术界の革新的アイデアを社会実装可能な技術まで昇華させる取組を主体的に行うため、「未来思考実証センター」を新たに設置しました。センターを通じて、本学の「未来を思考するモノづくりとひとづくり」をモットーに、研究機関・企業群を巻き込んだ社会実装による新産業創出を推進してまいります。「未来思考実証センター」のご活用を是非ご検討ください。

Contents

	未来思考実証センター	03
01	産学連携制度について	05
02	研究・産学連携	08
03	活動報告等	12
04	九州工業大学の産学連携実績	17
05	九州工業大学 装置等の利用案内	18
06	組織案内	19
07	スタッフ紹介	21

Kyutech Innovation



Topics

未来思考実証センター新設

～イノベーション創出大学化に向けたチャレンジ～

2024年4月、アカデミアの革新的アイデアによるイノベーション創出を目指し、新たに「未来思考実証センター」を設置しました。



未来思考実証センターでは、イノベーション創出に向けて、スタートアップ関連の支援にも取り組んでいます。

①教職員・学生の起業活動の支援を行っています

起業に関心のある学内の教職員や学生に対して、起業相談窓口の設置、企業マインドの向上を目的とした学内起業家コンテストや起業支援セミナーの企画・開催、そして起業前後の活動支援としての外部資金獲得支援、インキュベーションルーム等の整備・運営、広報協力等を通じた、きめ細やかな支援に取り組んでいます。

HP(起業相談窓口)



今年度新たにHPを制作しました。
https://www.ccr.kyutech.ac.jp/f_venture/

起業家コンテスト



起業支援セミナー

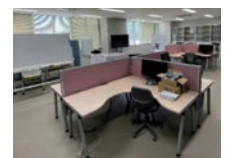


昨年度は、独立行政法人
中小企業基盤整備機構
九州本部と共同で開催
しました。

FFG社会連携講座 開設



インキュベーション ルーム関連

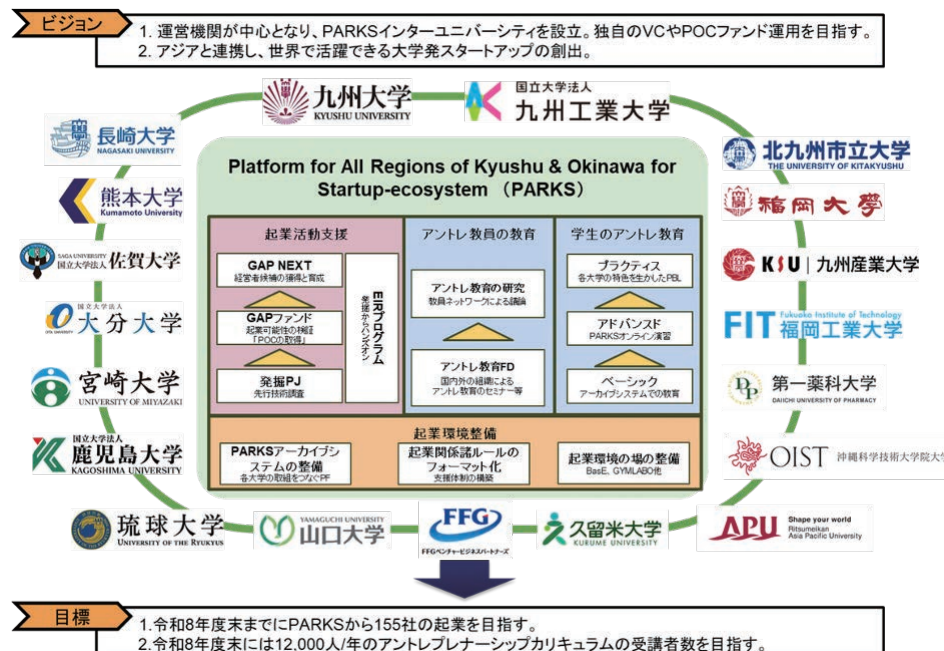


戸畑、飯塚、それぞれの
キャンパスに整備
しています。
※写真は飯塚キャンパス
インキュベーションルーム

「PARKS(パークス)」を主幹機関として運営しています

2022年5月、JST事業の「大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援」に、「オール九州スタートアップエコシステムプラットフォーム(PARKS)」が採択されました。

PARKSは、オール九州・沖縄圏が一体となり、アジアと繋がるスタートアップエコシステムの創出を目指すプラットフォームで、拠点都市である福岡市、北九州市、及び九州・大学発ベンチャー振興会議と密に連携し、アントレプレナーシップ教育から起業支援まで、一気通貫で実施します。2023年度からは新たに3大学が加わり、19機関で構成されています。



本学発のベンチャー企業



47 社

全国の大学で
22 位

本学発のベンチャー企業は47社(経済産業省「令和5年度大学発ベンチャー実態等調査」(令和6年5月))を数え、全国の大学で22位に位置しています。

産学イノベーションセンターでは、本学の教員や学生による起業など新事業の創造に向けた取組を支援するべく、外部資金の獲得や大学発ベンチャーの広報支援等を行っています。

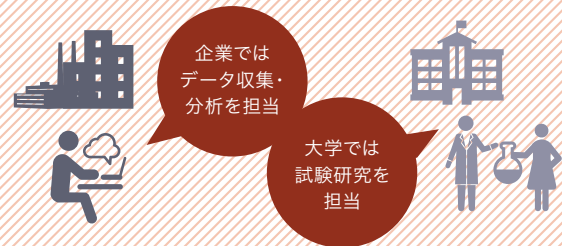
01 産学連携制度について

産学連携制度

企業のさまざまなご要望に対応するため、多様な産学連携制度を整備しています。

共同研究

企業の研究者と本学教員が共通課題について対等の立場で共同して研究を行います。



共同研究講座・社会連携講座

企業から資金・人材を受け入れて、大学内に拠点を設置します。教員と企業からの出向者が対等な立場で運営し、研究等を行います。



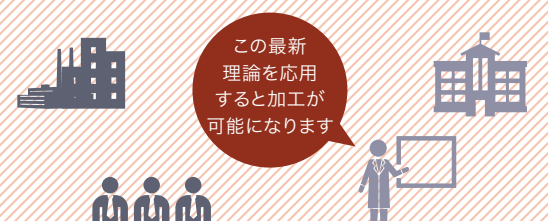
受託研究

企業からの委託によって、本学教員が研究を行います。研究成果を企業に報告させていただきます。



学術コンサルティング

本学教員が専門知識に基づき、技術面等のコンサルティングや講習等を行います。



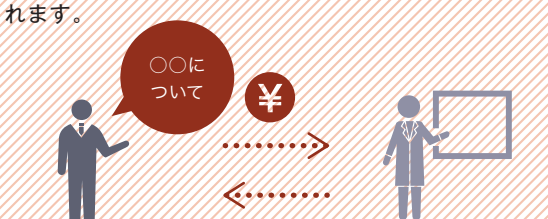
寄附金

企業や個人の篤志家などから学術研究や奨学を目的とした資金を受け入れます。



寄附講座・寄附研究部門

寄附者が希望する講座や研究部門を設置する制度です。外部から客員教授等を招いて教育研究活動が行われます。



お問合せ先

研究企画課産学連携係

TEL 093-884-3085

✉ ken-sangaku@jimu.kyutech.ac.jp

WEB <https://www.kyutech.ac.jp/research/general-counter.html>

Information

各種産学連携制度の詳細をご希望の方は右のQRコードからアクセスください



i 技術相談のご案内

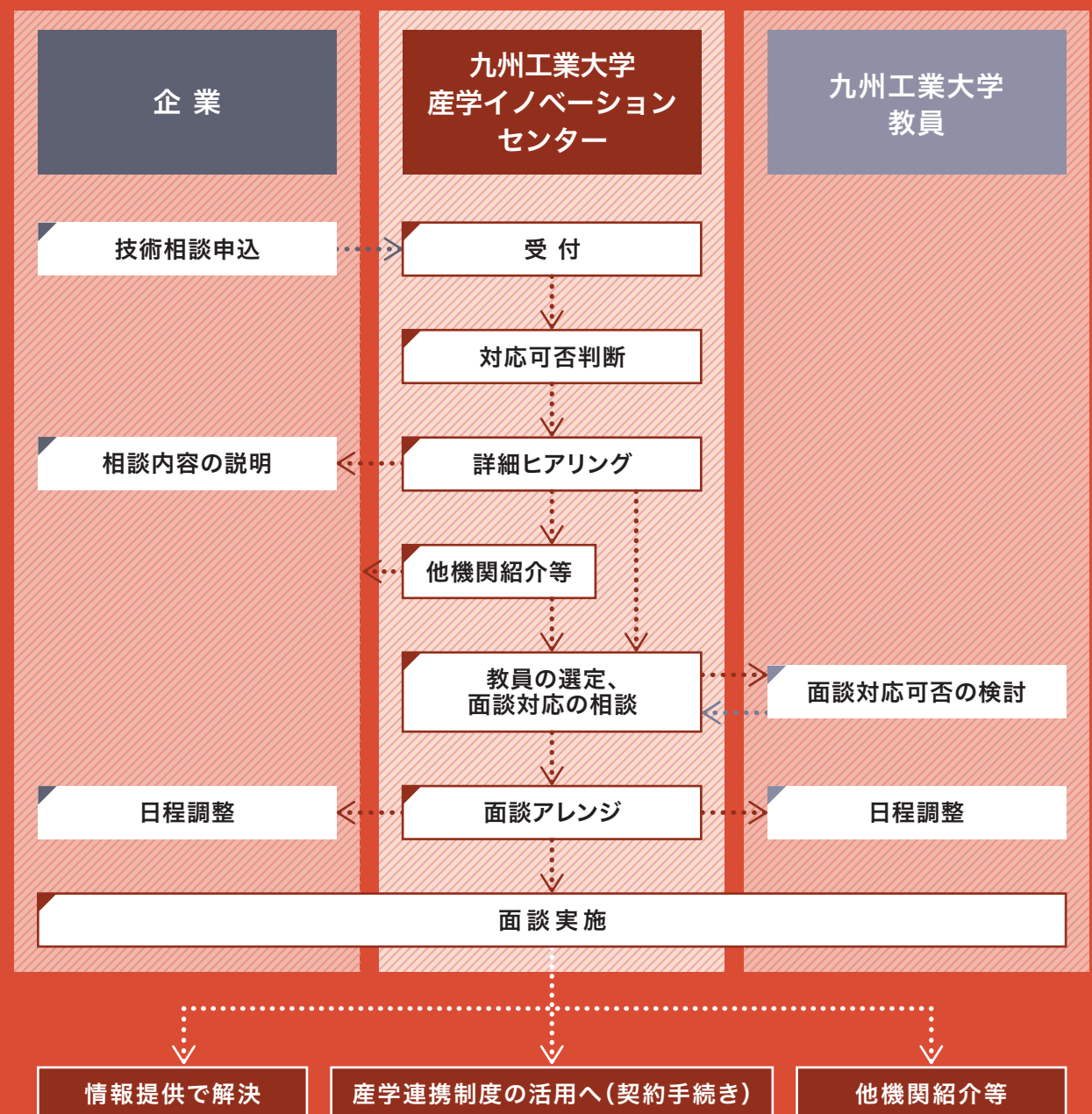
九州工業大学産学イノベーションセンターでは、企業の皆様からの技術相談を随時受付けております（初回無料）。技術相談をご希望の方は以下のサイトから「技術相談依頼フォーム」にご入力ください。

技術相談の受付サイト

<https://www.ccr.kyutech.ac.jp/ask/> 右のQRコードからもアクセスできます。



技術相談の流れ



① 主な産学官連携制度の比較について

	共同研究	共同研究講座	社会連携講座	受託研究	寄附講座
 知的財産権	共有可 (※)		大学との協議による	大学に帰属	
 学内・学外PR	—	講座名に企業の 名称使用可		—	講座名に企業の 名称使用可
 連携する教員(九工大)	企業が希望する 教員				大学側が招へい する教員
 企業からの派遣	・共同研究員 (任意) ・研究料 ＝月額 35,000円	・共同研究講座教員 (必須) ⇒ 特任(准)教授 等の称号付与 ・民間等共同研究員 (任意) ⇒ 研究料 ＝月額35,000円	・社会連携講座等教員 (必須) ⇒ 特任(准)教授 等の称号付与 ・共同研究員 (任意)	—	大学が招へいした 教員となった 場合は可能
 運営／進め方	大学と企業が 共同で実施	大学と企業が共同で運営 (大学幹部が関与)		大学が実施	大学側が運営
 税制上の優遇	特別試験研究 税額控除制度	・増加試験研究費税額 控除制度 ・特別試験研究税額 控除制度	—	全額損金算入可	
 間接経費等	直接経費の30%				共通経費として 内数で10%相当
 効果	共同研究員が 学位を取得できる 可能性	・大学リソースのフル活用 ・学生へのPR効果 ・企業の研究者を教員ポストで派遣 ・教員同士の連携 ・共同研究員が学位を取得できる可能性		手軽に研究 成果を獲得	学生への PR効果大
 留意点	企業も研究に 関与します。	共同研究講座教員は大学が雇用します(人件費相当は研究経費として計上していただきます。また大学の職務規定に基づき勤務いただきます。)	人材育成等を継続的に行う拠点を設置いただきます。社会連携講座教員は大学が雇用します(人件費相当は講座経費として計上していただきます。また大学の職務規定に基づき勤務いただきます。)	—	寄付のため 研究成果は 対価では ありません。

(※)協議の上、以下の取扱いから選択できます

- ① 本学と外部機関の貢献率により持分を定めて共有する取扱い
- ② 貢献率によらず持分を定めて両者が共有する又はいずれか一方の当事者が単独で保有する取扱い
- ③ いずれか一方の当事者の持分を他方の当事者に持分譲渡する取扱い

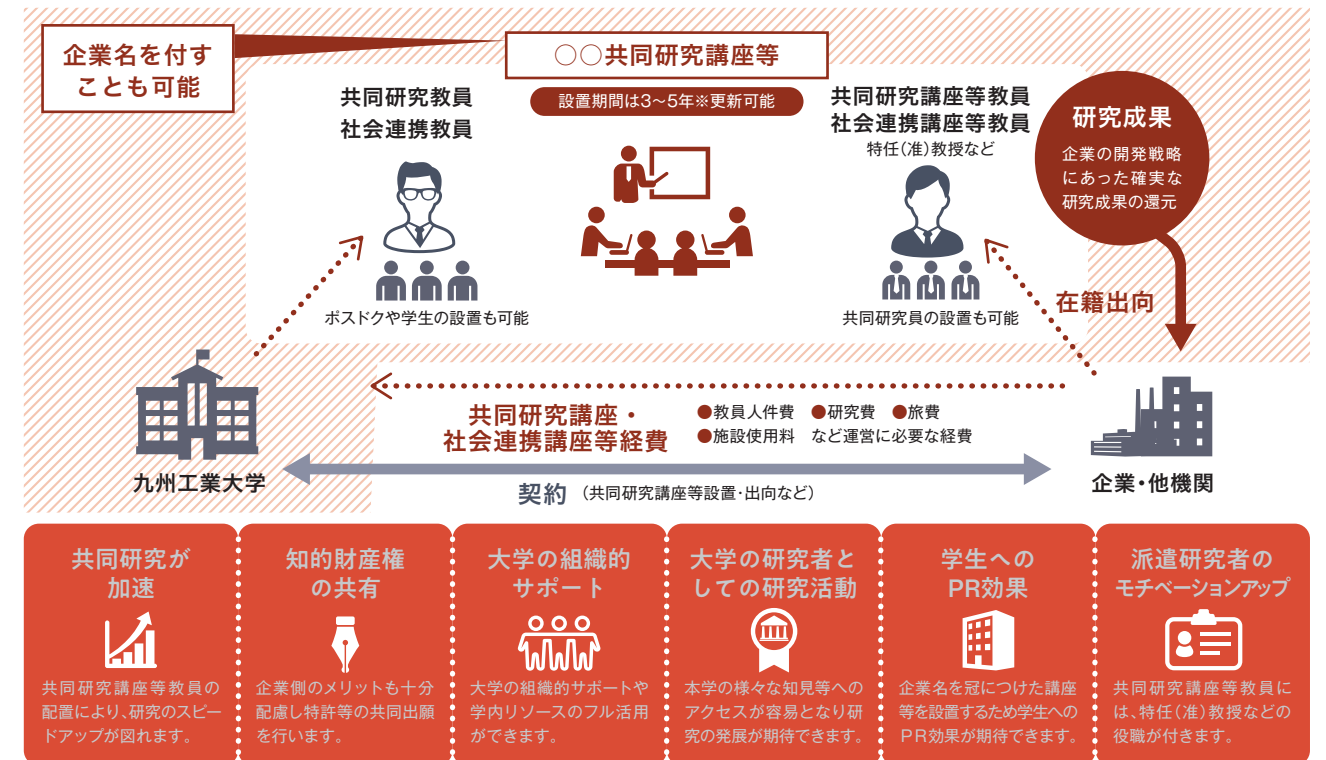
02 研究・産学連携

共同研究講座・社会連携講座を8講座設置！

2015年に創設した共同研究講座等制度については、次々に講座が開設され、2022年に創設した社会連携講座制度とあわせて2024年7月現在で8講座が運営されています。

今後も共同研究講座・社会連携講座の増加により、さらなる産学連携が期待されます。

共同研究講座・社会連携講座の概要



共同研究講座一覧

講座名称	受入部局	設置期間
IoTシステム実装研究講座 (九州工業大学・パナソニック共同研究講座)	工学研究院	2017年11月～2027年3月
プラントライフサイクルエンジニアリング (PLE-TAKADA) 講座	生命体工学研究科	2018年4月～2027年3月
上野精機次世代先端技術共同研究講座	生命体工学研究科	2022年4月～2025年3月
GX材料デバイス研究講座 (九州工業大学・パナソニックインダストリー共同研究講座)	工学研究院	2023年1月～2026年3月
SUMCO共同研究講座	生命体工学研究科	2023年12月～2026年11月

社会連携講座等一覧

講座名称	受入部局	設置期間
半導体産業イノベーション推進連携部門	マイクロ化総合技術センター	2022年4月～2025年3月
Web3 Lab	情報工学研究院	2023年4月～2026年3月
FFG大学発ベンチャー創業支援プログラム	未来思考実証センター	2023年6月～2026年3月

※2024年7月現在

GYMLABO ～交わりの形成拠点へ～

GYMLABO(ジムラボ)は、グローバルな人材、アイデア、シーズなどを有機的に結びつける交わりの形成を目的としたコワーキングスペースであり、2022年5月に開設しました。

月に延べ3千人以上に利用され、開所から2年間の利用者は延べ5万人になります。また、学生の利用に限らず、自治体・企業等の主催や連携により行われるイベントはひと月に10件を超え、多様な交わりの形成拠点として機能しています。

今後も本学で学ぶ、知を接続し、組み合わせ、さらには世界を見据え、未来を考えることができる若い人材を起点に、社会との多様な共創活動を生み出していきます。



GYMLABOが利用できるKyuTechコラボ会員について ▶▶▶ 詳細はこちら



詳しくは
こちら

設備概要

- 会員は8:00～22:00で利用可能(非会員は平日の9:30～18:30)
- 戸畑キャンパス唯一の学外利用者用のWi-Fi環境整備
- 常時60名が利用できるオープンエリア
- 人数に応じた利用可能な会議室
 - 6名用会議スペース×5 ○8名用会議スペース×1
 - 30名用セミナースペース×1 ○45名用セミナースペース×1
 - 企業向けレンタルオフィス×3 ○個人スペース×18、Web会議ブース×3
- 利用料金：一般の利用者も500円/日からご利用いただけます。
KyuTechコラボ会員/非会員によって利用料が異なります。
詳細は、GYMLABOサイト内の料金表を参照ください。

Check!



令和5年度から、GYMLABO施設内でポスター・チラシ掲示やデジタルサイネージでの企業広告、SNSを活用した学生等への広報が可能な広告プランが始まりました。ご興味がありましたら、ぜひお問合せください。

お問合せ先

GYMLABO事務局

TEL 093-884-3288

contact@gymlabo.kyutech.jp

KyuTechコラボ(九州工業大学 産学官連携推進会)

KyuTechコラボは、産業等との多様な連携活動を通じて地域の動きを加速させ、地域社会の課題解決やイノベーション創出に貢献するために、2020年度に創設した「九州工業大学 産学官連携推進会」の愛称です。

本会員になっていただくことで、GYMLABOを活用した学生との交流イベントの開催やインターンシップ型アルバイト事業への申込み等を特典としてご利用いただけます。



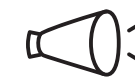
会員特典

GYMLABO



GYMLABOの利用(コワーキングスペースはご自由に、会議室等は会員価格で利用可能)

産学官連携関連 情報配信



各種セミナーやイベント等をご案内いたします。学生との交流イベント等も優先的にご案内いたします。

インターンシップ型 アルバイト事業



本学生を対象としたインターンシップ型アルバイト事業に申し込めます。

特許優先開示



出願直後の特許情報の概要をひと足早くお届けします。

研究会活動支援



研究会の立上げ・運営をサポートさせていただきます。

技術相談サポート



入会方法



お問合せ先

産学イノベーションセンター

KyuTechコラボ事務局

TEL 093-884-3487

collabo-jimu@ccr.kyutech.ac.jp

WEB <https://www.ccr.kyutech.ac.jp/collabo/>



KyuTech
コラボHP

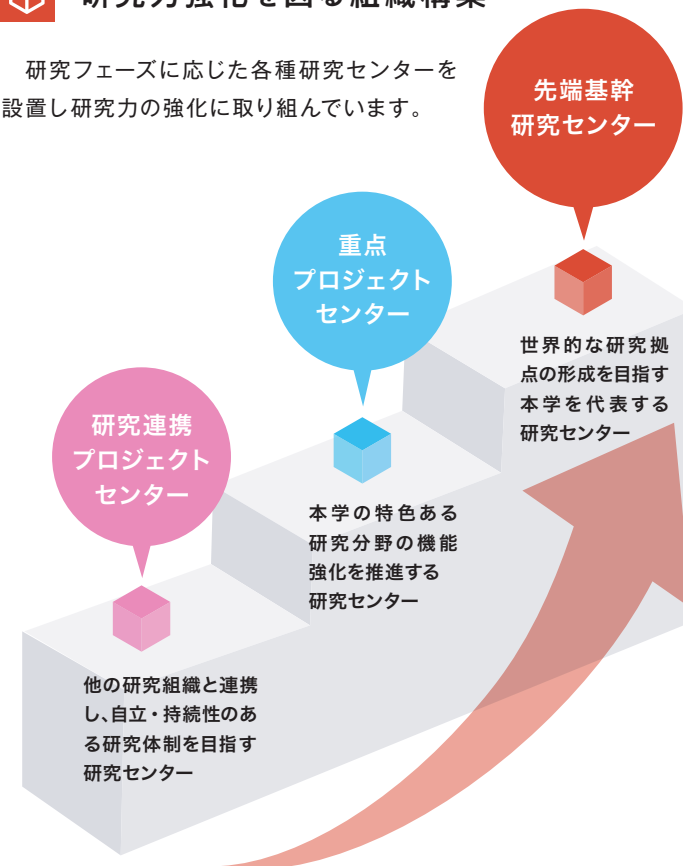
研究支援の取組

イノベーション本部産学イノベーションセンターでは、若手研究者の学内連携支援や研究組織の開設支援・運営支援、学内研究機関の連携による融合分野等の創出支援、研究資金の獲得支援などを行い、教員の研究領域の深化・拡大、新しい研究分野の開拓などを推進しています。

これらの研究支援活動を通じて、特徴的な研究活動を形成し、学術研究の発展と社会への貢献に取り組んでいます。

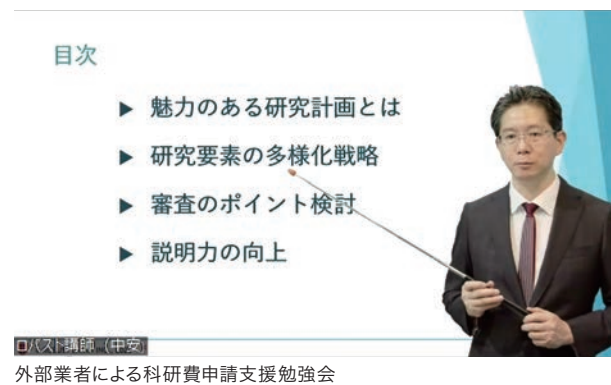
研究力強化を図る組織構築

研究フェーズに応じた各種研究センターを設置し研究力の強化に取り組んでいます。



研究者向け研究費申請支援セミナーの開催

産学イノベーションセンターでは、科研費や特別研究員といった研究費関連の申請を行う学内の教員及び学生に向けて、制度に関する説明会や申請書作成のノウハウ等のセミナーを開催しています。



外部講師による特別研究員申請支援セミナー

先端基幹研究センター

革新的宇宙利用実証ラボラトリー
次世代パワーエレクトロニクス研究センター
環境エネルギー融合研究センター
ニューロモルフィックAIハードウェア研究センター
IoTネットワークイノベーション実証研究センター
未来社会ロボット実装センター

重点プロジェクトセンター

高信頼知的集積システム研究センター
ケアXDX[※]センター
次世代軟磁性材料社会実装推進センター
合成生物工学研究センター
グリーンマテリアル研究センター

研究連携プロジェクトセンター

データサイエンス・AI研究センター

*XDX→Experience of Digital Transformation の略

03 活動報告等

博士学生支援事業

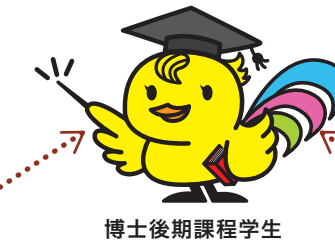
九州工業大学博士支援WEBサイト

https://www.ccr.kyutech.ac.jp/dc_support/



経済支援

- 研究奨励費(生活費)
15万円/月
- 研究費
90万円/年(最大)
- 支援期間
課程修了まで、最大3年間



博士後期課程学生

博士人材の育成

- 海外留学
- インターンシップ
- トランスファラブルスキル習得
- キャリアパス開発
- 学際交流

次世代研究者挑戦的研究プログラム (SPRING)

地球規模課題解決に向けたグローバルエンジニア型博士人材育成プロジェクト

本学では、JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の採択を受け、令和3年度より博士人材育成プロジェクトを実施しています。プロジェクト学生は、海外留学や国際共同研究への参加を通して、国際的な素養と高度な研究力・専門性を獲得します。さらに、本プロジェクトによるインターンシップやアントレプレナーシップ教育の推進、トランスファラブルスキル修得支援を通して、社会課題の発見・解決に資する工学系博士人材の育成を目指しています。

学部4年間

修士課程

博士後期課程

課程修了

グローバルエンジニア養成コース (6年一貫教育プログラム)

- ・海外学習体験
- ・海外就業体験
- ・グローバル教養教育
- ・語学教育
- ・留学生との協働学習

グローバルエンジニア型博士 人材育成プロジェクト

- ・短期留学/海外研修
- ・キャリア探索インターンシップ
- ・トランスファラブルスキル修得支援
- ・キャリアパス形成支援
- ・学際性の涵養
- ・アントレプレナーシップ教育と実践

PARKS アントレプレナーシップ教育プログラム

JST「大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援」

ビジネスプラン
コンテスト

大学院生向け
GAPファンド

大学院生向け
アントレ教育プログラム

Kyutech アントレプレナーシップ教育プログラム

入門科目群※ 基礎科目群 応用科目群 実践科目群
※2024年度 学部生向け科目を新設 学内連携大学院アントレプレナーシップ教育コース

高度な専門性と
国際的視野
＋
社会実装を
見据えた研究
開発能力
↓
複雑な社会課題
の解決に資する
工学系人材

博士学生のインターンシップ受入に
ご興味をお持ちの企業の皆様、
いつでもご連絡ください！

お問合せ先

九州工業大学SPRING事務局

TEL 093-884-3674

phd-fellowship@ccr.kyutech.ac.jp

2023年度（令和5年度）展示会出展支援実績



NEW環境展2023

@東京ビッグサイト

2023/5/22～24



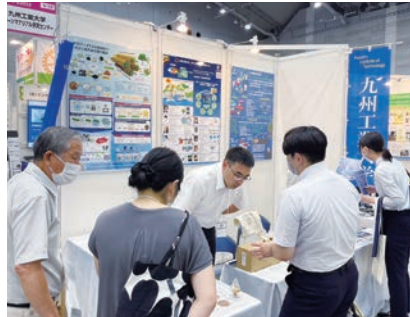
脇迫 仁 准教授
(大学院工学研究院 電気電子工学研究系)
ペットボトルキャップリサイクル活動とリサイクル品、
キャップ材質判定装置

坪田 敏樹 准教授
(大学院工学研究院 物質工学研究系)
未利用バイオマス資源の付加価値化 バイオ炭
による炭素貯留



課題解決Expo2023

2023/7/5～7



安藤 義人 准教授
(大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻)
木質バイオマスの材料化に向けた取り組み

脇迫 仁 准教授
(大学院工学研究院 電気電子工学研究系)
ペットボトルキャップリサイクル活動とリサイクル品、
キャップ材質判定装置



Tokyo Tech OPen innovation 2023

@東京工業大学

2023/10/4～5



しんきん合同商談会

@マリンメッセ福岡

2023/11/8



Matching HUB Hokuriku 2023

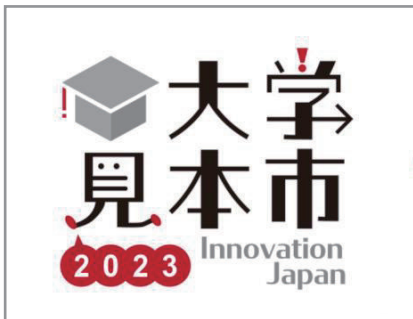
@ANAクラウンプラザホテル金沢

2023/11/9～10



大学見本市2023～イノベーション・ジャパン

2023/8/24～25



国立研究開発法人科学技術振興機構主催の「大学見本市
2023～イノベーション・ジャパン」(2023年8月24～25
日)に出展しました。4年ぶりのリアル開催で5件の技術
シーズを発表しました。



▲
詳細は
こちらをご覧
ください

本学から5名の先生が出展しました

安藤 義人 准教授
(大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻)
「脱プラに向けて未利用木質資源を使った環境低負荷を指向する材料」

安田 隆 教授
(大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻)
「創薬・医療の高度化を図る神経細胞解析デバイス」

田中 悠一朗 准教授
(先端研究・社会連携本部ニューロモルフィックAIハードウェア研究センター)
「エッジのための低学習コストAI」

徳永 旭将 准教授
(大学院情報工学研究院 知能情報工学研究系)
「試行錯誤のプロセスを大幅に低減する外観検査AI技術」

大村 一郎 教授
(大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻)
「コンディションモニタリング用超軽量・小型・低コスト電流センサ」



2023年度新技術説明会

2023/12/5（オンライン開催）



2023年12月5日、国立研究開発法人科学技術振興機構
主催の「九州工業大学新技術説明会」を開催しました。新
技術説明会は発明者が企業関係者を対象に実用化を展望
した自身の技術を紹介、マッチングの機会として行われる
もので、今回8名の研究者のシーズが発表されました。



▲
詳細は
こちらをご覧
ください

本学から8名の先生が出展しました

鈴木 恵友 教授
(大学院情報工学研究院 知的システム工学研究系)
「SiC基板を高レートで研磨することができる研磨技術の開発」

坂本 憲児 准教授
(大学院情報工学研究院 知的システム工学研究系)
「微量サンプル向け粘度測定装置」

宇佐美 雄生 助教
(大学院生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻)
「音声を識別する導電性ポリマー」

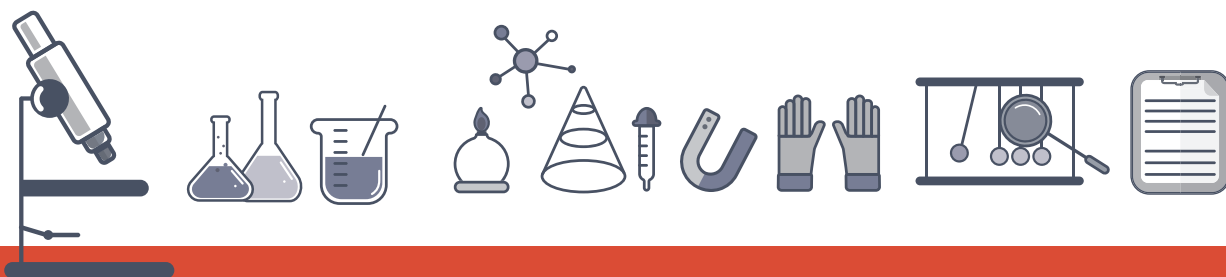
永岡 健司 教授
(大学院工学研究院 機械知能工学研究系)
「螺旋翼を用いた軸方向マルチ面波動伝播装置」

高嶋 一登 准教授
(大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻)
「任意の形状に変形し保持可能なロボットの変容性リンク」

永井 秀利 助教
(大学院情報工学研究院 知能情報工学研究系)
「計測信号で不規則発生する有限要素波形を実時間検出」

安藤 義人 准教授
(大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻)
「セルロースナノファイバーの樹脂複合材の合成」

長谷川 一徳 准教授
(大学院工学研究院 電気電子工学研究系)
「再生可能エネルギーの普及拡大に必要な
インバータ寿命診断技術」



※職名は出展当時

連携協定



室蘭工業大学、東京工業大学と、 科学技術に関する産学・人材育成連携覚書を締結しました。

2023年12月22日、室蘭工業大学、東京工業大学と、科学技術に関する産学・人材育成連携覚書を締結しました。

この連携は、世界の持続可能な発展が求められる現在、産業をリードする研究と教育を行う室蘭工業大学、東京工業大学および九州工業大学が、科学技術に関する研究・産学連携および人材育成を通じた地域・社会への更なる貢献を目的としています。それぞれの地域の特性を活かし合い連携することで、我が国と世界の産業の発展を支える新しい理工系や科学技術領域の研究、産学連携、および先導的な教育・人材育成の更なる推進を図っていきます。



北九州市、GZキャピタル株式会社と、 ロボット技術等の社会実装に向けた連携協定を締結しました。

全国的にも珍しい商業施設を活用したリアルな実証環境である北九州イノベーションセンターの活用を目的に、北九州市、GZキャピタル株式会社、九州工業大学の三者で包括協定を結びました。九州工業大学の「ロボット技術等の知」と、GZキャピタル株式会社の「実証フィールドの提供や人材育成」、北九州市の「国家戦略特区を活用した規制緩和や実証支援」など、それぞれの持つ強みを合わせて、様々な実証事業を推進していきます。



株式会社SUMCOと、 半導体に関する研究や人材育成に向けた包括協力協定を締結しました。

2023年12月4日、半導体素材大手の株式会社SUMCOと、半導体に関する研究や人材育成に向けた包括協力協定を締結しました。

株式会社SUMCOは、半導体シリコンウェーハの製造・販売で世界シェア第2位、先端ロジック半導体用シリコンウェーハでは、世界第1位のシェアを誇る企業です。

今後、半導体シリコンウェーハの高品質化や生産効率向上に関する研究開発、実証実験、データサイエンス・人工知能(AI)業界をけん引するトップ人材の育成などで、産学の連携をより一層推進します。



QBキャピタル合同会社と、 研究成果の事業化に関する包括連携協定を締結しました。

九州工業大学とQBキャピタル合同会社は、2024年3月13日にトップ会談を開催し、九州工業大学の研究成果の事業化及びスタートアップ創出支援等に関する包括連携協定を締結しました。本協定書は、相互に協力し、九州工業大学の「研究成果の社会還元」及び「地域における新産業の創出」を図り、九州工業大学発スタートアップの創出に取り組むことを目的としています。

本協定締結以前より、九州工業大学とQBキャピタル合同会社は、九州工業大学発スタートアップへの投資、九州工業大学の有望な研究成果の探索、事業化プロジェクトの組成とマネジメント、スタートアップと九州工業大学とのマッチング支援等、九州工業大学の研究成果のスタートアップによる事業化に関して連携してまいりました。本協定の締結により、スタートアップの創出の取組を加速してまいります。



日鉄ステンレス株式会社研究センターと、 ステンレス鋼の更なる高機能化及び省資源化の実現に向けた包括協力協定を締結しました。

2023年7月7日、日鉄ステンレス株式会社研究センターと、ステンレス鋼の更なる高機能化及び省資源化の実現に向けた研究開発や実証実験、及びその関連領域での諸活動を組織的に推進することを目的として、包括協力協定を締結しました。

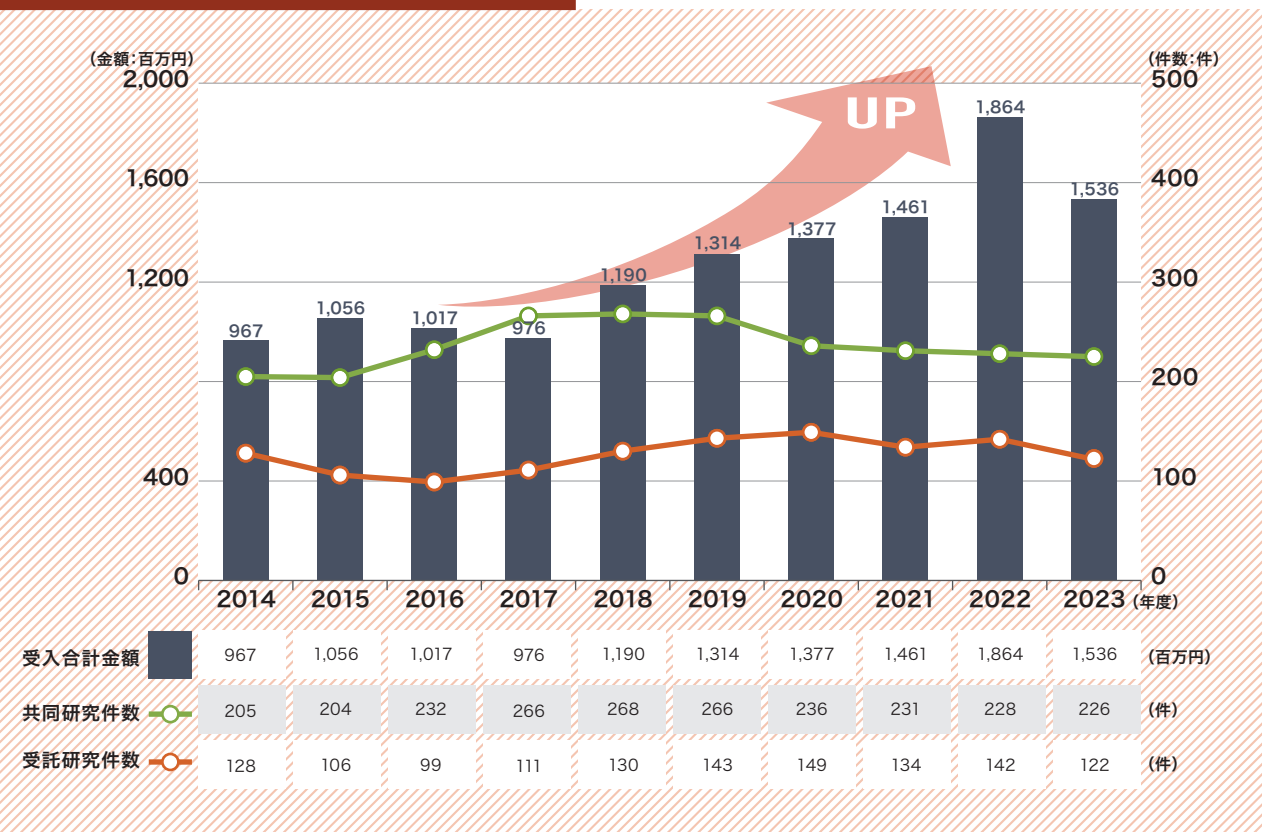
本協定の締結により、教職員に加えて学生も含めた組織間での連携を図り、研究及び教育の両面において両者がこれまで以上に協力を行いながら、研究開発や人材交流・育成などを推進してまいります。



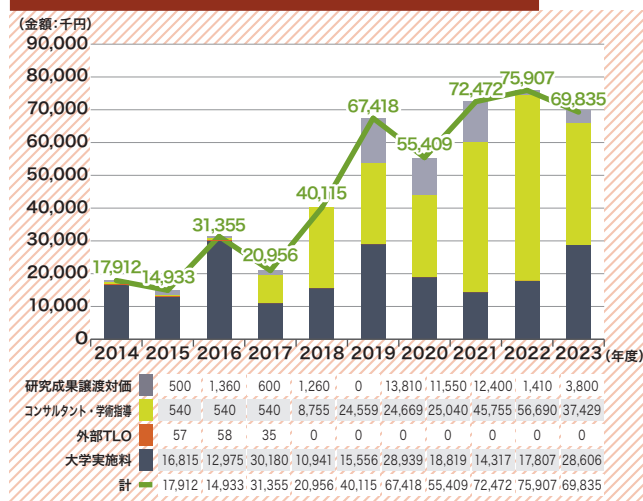
産学連携による研究は年々増加

九州工業大学の共同研究・受託研究は、近年増加傾向であり、民間企業との共同研究に伴う研究者1人当たりの研究費受入額(2022年度)は、国内第15位で国内有数です。
今後も更に産学連携を推進していきます。

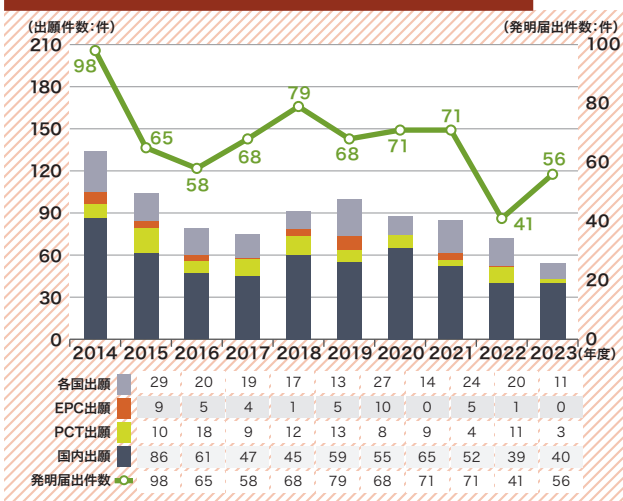
共同研究・受託研究契約実績の推移



技術料等収入の推移



発明の届出と特許出願料の推移



学外の方も利用できます！

本学が保有している大型装置、分析機器、測定機器等について、学外の方も利用できます。
問い合わせ先、申し込み、使用料金等の詳細は次のURLを参照ください。

測定依頼の受け入れと装置一覧

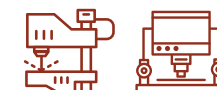
<https://www.kyutech.ac.jp/research/request.html>

右のQRコードからもアクセスできます。



機器分析センター 戸畑キャンパス

各種の高性能大型分析装置等により、分析・測定及び解析等が行えます。



<https://www.kitcia.kyutech.ac.jp/>

マイクロ化総合技術センター 飯塚キャンパス

集積回路や半導体デバイスの設計・製造、評価・観測が行えます。



<https://www.cms.kyutech.ac.jp/>

革新的宇宙利用実証ラボラトリー 戸畑キャンパス

超小型衛星の開発に必要な振動実験、熱真空実験、熱衝撃実験など様々な環境実験、測定及び解析が行えます。



<https://kyutech-laseine.net/>

機器学外者利用 (各センター設置機器以外)

その他の貸し出し機器リスト、利用要項、申込書など



<https://bap.jimu.kyutech.ac.jp/publishes/10/index/>

スマートライフケア共創工房 若松キャンパス

介護ロボットの研究開発における様々な計測・評価を行います。また「すぐ創る課」が皆様のニーズをお聞きます。



<https://slc3lab.jp/>



詳細はこちらのHPへ

次世代パワーエレクトロニクス研究センター 若松キャンパス

パワー半導体を中心とした様々な測定・分析及び試験が行えます。



<http://power.kyutech.ac.jp/facilities.html>

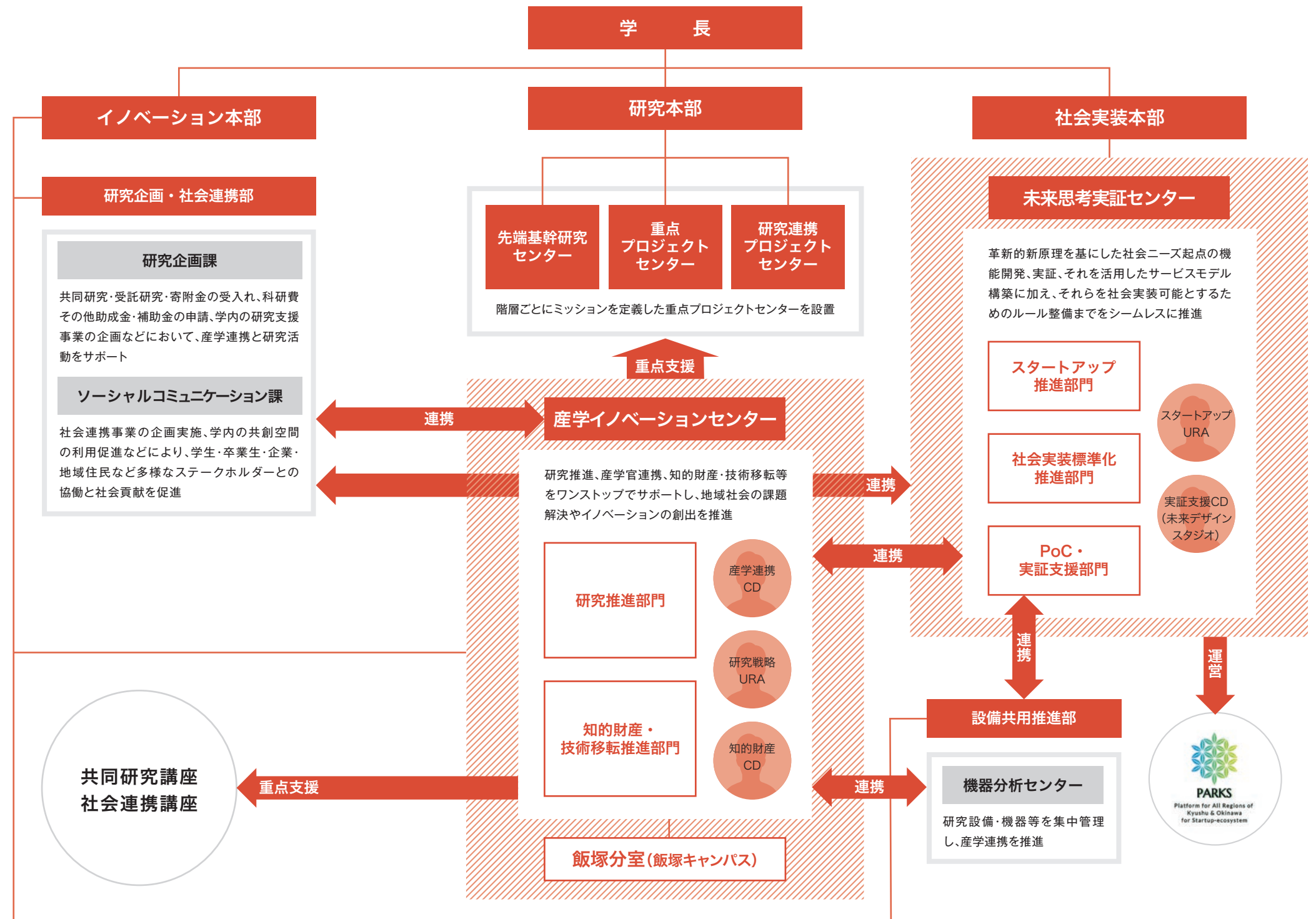


詳細はこちらのHPへ

組織案内

未来思考実証センターは、革新的新原理を基にしたPoC開発、実証実験、それを活用したサービスモデル構築に加え、それらを社会実装可能とするためのルール整備(規制対応や標準化)までをシームレスに支援し、水中から宇宙まで地球規模で展開可能なロボット技術を皮切りに、九州工業大学が世界的に強みを持つ先端技術群の社会実装の推進を目指しています。

産学イノベーションセンターは、学内の研究支援から産学連携までワンストップで対応しています。若手研究者の連携支援、特徴的な研究活動を重点支援し、研究力を組織的に強化するほか、企業等のニーズと大学のシーズのマッチングや産学官金の連携を推進し、学術研究の発展と地域社会や産業界への貢献を目指しています。



07

スタッフ紹介

イノベーション本部

産学イノベーションセンター



産学イノベーションセンター長 中牟田 晃

産学イノベーションセンターは、研究推進、産学官連携、知的財産・技術移転等をワンストップでサポートします。具体的には、企業と大学の産学連携活動や、大学が持つシーズ発掘から知的財産権利化・技術移転、さらには大型研究プロジェクトに至るまで、切れ目なくサポートする体制を整えております。技術相談、共同研究、共用設備の活用などを通じ、企業や自治体等との産学官の連携を一層強化し、地域社会の課題解決やイノベーションの創出に取り組んでまいります。

研究推進部門長

産学連携、研究の推進支援に取り組んでいます。産学連携としては、企業等からの技術相談をはじめ、学術コンサルティング、共同研究、受託研究等の活動を推進しています。また、研究としては、研究シーズに基づく新たな社会的価値の創造、中長期的な戦略に基づく研究拠点の高度化・大型化、社会実装に向けた取組、外部資金獲得等の研究者への伴走支援を積極的に推進しています。

主な業務

- 科研費、特別研究員、その他外部資金の申請・獲得等の研究者支援
- 共同研究講座、研究センター運営等の研究プロジェクトマネジメント
- 技術相談、展示会等を通じた共同研究や受託研究の受入等の産学連携活動
- 博士学生支援、研究広報誌、学内外イベント、研究者DB更新等の関連専門業務
- 外部研修・説明会、セミナー等を通じた、外部資金情報の収集と分析、学内発信



藤原 義久

知的財産・技術移転推進部門長

大学の新たな学術研究成果から、知的財産としての可能性や価値を見出し、知財に係る各法を遵守し権利化を行っています。さらに、権利化した知的財産の技術移転にも積極的に関わり、本学シーズの活用を促進しています。

主な業務

- 知的財産の創出・取得・管理・活用に関すること
- 本学が保有する技術シーズの移転
- 本学の発明審査委員会に関すること



荻原 康幸

飯塚分室 室長

飯塚キャンパスにおける当センター業務を行っています。キャンパス間で連携し、産学官の取組を推進しています。



諫山 宗敏

研究企画・社会連携部



イノベーション本部長／研究企画・社会連携部長 福本 幸弘

産学連携を含む多様なステークホルダーとの連携を促進しつつ、研究活動のサポートを行うことで、大学の社会貢献を促進しています。

研究企画課

共同研究・受託研究・寄附金の受入れ、科研費その他助成金・補助金の申請、学内の研究支援事業の企画などにおいて、産学連携と研究活動をサポートしています。

ソーシャルコミュニケーション課

社会連携事業の企画実施、学内の共創空間(GYMLABO等)の利用促進などにより、学生・卒業生・企業・地域住民など多様なステークホルダーとの協働と社会貢献を促進しています。

機器共用推進部



機器共用推進部長 福本 幸弘 (併任)

大学の研究設備・機器等の集中管理を行い、学内外の研究者に利用していただくことで、産学官連携の推進を図り、大学における教育研究の向上を目指しています。

機器分析センター

高性能大型分析機器を共同利用することにより、研究及び教育上の利便を図るとともに、分析技術の研究、開発を行います。

問い合わせ先

- | | | |
|----------------|---------------|------------------|
| ●スタートアップに関すること | 未来思考実証センター | TEL 093-884-3487 |
| ●研究支援に関すること | 産学イノベーションセンター | TEL 093-884-3674 |
| ●産学連携制度に関すること | 研究企画課産学連携係 | P5 |

- | | | |
|-------------------|-------------|-----|
| ●KyuTechコラボに関すること | KyuTech 事務局 | P10 |
| ●博士学生支援に関すること | SPRING 事務局 | P12 |
| ●設備利用に関すること | 各センター等 | P18 |

社会実装本部

未来思考実証センター



社会実装本部長／未来思考実証センター長 中藤 良久

未来思考実証センターは、研究により得られた科学的理論や基礎的知見の社会実装をワンストップでサポートします。具体的には、学内外の研究者が生み出した先端技術について、PoC開発、実証実験、それを活用したサービスモデルの構築に加え、それらを社会実装可能とするためのルール整備(規制対応や標準化)までを切れ目なくサポートするための体制を整えております。今後、更なる体制整備を行い、イノベーションの創出に取り組んでまいります。

スタートアップ推進部門長

世界で活躍できる大学発のスタートアップの創出を推進するため、北九州市・九州・大学発ベンチャー振興会議、金融機関等と連携して、アントレプレナーシップ教育から起業支援までワンストップで取り組んでいます。また、地域の産業界等とのネットワーク強化・地域社会の課題解決やイノベーション創出に向けた組織運営にも取り組んでいます。

主な業務

- 大学発スタートアップ創出支援(主幹機関としてのPARKSの運営 等)
- 起業家コンテスト、起業支援セミナーの企画・開催
- 学内外のアントレプレナーシップ教育の推進
- KyuTechコラボ(九州工業大学 産学官連携推進会)の企画・運営



大庭 英樹



特任教授
上條 由紀子

社会実装標準化部門長

学内外のディープテック技術を社会実装可能とするためのルール整備(規制対応・標準化)を支援するため、法規制対応・標準化を支援できる人材の学内外からの集積・整備に取り組んでいます。

主な業務

- 社会実装標準化に関すること(体制整備・人材育成等)



福本 幸弘
(併任)

PoC・実証支援部門長

学内外のディープテック技術を社会実装可能とするための「実証の場」となることを目指し、社会実装をできる人材と実証設備の学内外からの集積・整備に取り組んでいます。

主な業務

- 未来デザインスタジオの管理・運営
- インキュベーションルームの管理・運営
- 学外の実証施設活用に向けた外部機関との連携



大庭 英樹
(併任)

研究本部



研究本部長 神谷 亨

部局を超えた学内及び学外研究者が結集し、先端研究及びプロジェクト型研究によるイノベーションの創出と将来を担う若手研究者の育成を促進し、大学における研究推進力の一層の向上を図ることを目的として、階層ごとにミッションを定義した研究組織づくりを行いました。

先端基幹研究センター

大学の先端的な研究分野を核として部局の枠を超えた研究者が結集し、戦略的研究の推進や異分野融合など、大学の基幹となる研究領域の開拓、大型外部資金の獲得、イノベーションの創出並びに多くの若手研究者の活躍等を通じて、世界的な研究拠点の形成を目指す研究センター

- 革新的宇宙利用実証ラボラトリー
- 環境エネルギー融合研究センター
- 次世代パワーエレクトロニクス研究センター
- ニューロモルフィックAIハードウェア研究センター
- IoTネットワークイノベーション実証研究センター
- 未来社会ロボット実装センター

- | | |
|-------|-----------|
| センター長 | 北村 健太郎 教授 |
| センター長 | 中戸 晃之 教授 |
| センター長 | 安部 征哉 准教授 |
| センター長 | 田中 啓文 教授 |
| センター長 | 池永 全志 教授 |
| センター長 | 石井 和男 教授 |

重点プロジェクトセンター

先端基幹研究センターに準ずる特色ある研究の機能強化及び研究拠点の形成を目指す研究センター

- 高信頼知的集積システム研究センター
- ケアXDX (Experience of Digital Transformation) センター
- 次世代軟磁性材料社会実装推進センター
- 合成生物工学研究センター
- グリーンマテリアル研究センター

- | | |
|-------|-----------|
| センター長 | 黒崎 正行 教授 |
| センター長 | 井上 創造 教授 |
| センター長 | 本塚 智 准教授 |
| センター長 | 花田 耕介 教授 |
| センター長 | 安藤 義人 准教授 |

研究連携プロジェクトセンター

組織として外部資金の獲得や学内外の研究組織と連携すること、研究活動を活性化させ、自立性・持続性のある研究体制の確立を目指す研究センター

- データサイエンス・AI研究センター

- | | |
|-------|----------|
| センター長 | 齊藤 剛史 教授 |
|-------|----------|